



川西小だより

笑顔で『 明るく 楽しく 元気よく 』

令和7年1月8日
富田林市立川西小学校
TEL 24-3107
FAX 26-2306

★児童数配布

『 あたたかい気持ち 』

校長 山下 文博

二学期終業式当日の朝、各教室のドアを開錠していると、ある教室の黒板に子どもたちに向けたメッセージがありました。(終業式で子どもたちにも紹介しました。)

『おはようございます。とうとう2学期も最終日ですね。今日までたくさんの経けんをしてきました。遠足や運動会など…。1番心に残っているものは何ですか？その経けんは、長い人生で1回きりです。大切に心にとどめておいてください。いつか思い出したとき、あたたかい気持ちになります。』と。

おそらくこの先生も二学期を振り返り、ご自身にもあてはるところがあったのではないのでしょうか。子どもたちと一緒に過ごしてきた経験、またそこから得られたものなど、きっと先生も大切に心にとどめておられるのでしょう。子どもたちも先生も、様々な経験の積み上げで成長していきます。ひとつひとつの経験を大切にすることで自らの成長の糧としてほしいと思います。

私もこの黒板のメッセージを読みながら二学期を振り返りました。特に「あたたかい気持ち」という言葉。子どもたちと触れ合う中で何度も「あたたかい気持ち」にさせてもらいましたし、先生方と子どもたちのかかわりから「あたたかい気持ち」にさせてもらいました。さらに地域の方からのお電話やお言葉からも「あたたかい気持ち」にさせていただくこともできました。そこでふと、私自身が子どもたちや保護者の皆様、地域の皆様、そして先生方に対して「あたたかい気持ち」になってもらえるようなことができたのか…と深く考えさせられました。

そこで今年は、私の周りの方々が「あたたかい気持ち」になってもらえるようにしていきたいと思っています。まずはできるだけポジティブな視点で物事を見ていくことを心がけます。私を含め大人は、子どもたちのできていないところや間違ったところに意識が向いてしまい、つい否定的な言葉かけをしてしまいがちです。それが蓄積されていくと、どんどん自己肯定感や自尊心が損なわれていきます。子どもの行動にはすべて理由があり、その行動を肯定的な行動に変容させることが大切なのではないかと思っています。そのために、子どもたちのどのような姿に対しても前向きに肯定的に捉え、できるだけたくさんのポジティブな言葉かけをして、頑張っている姿や素敵な姿が見え、「あたたかい気持ち」があふれる川西小学校にしていきたいです。

児童の皆さん、今日から三学期、自分だけではなく周りの人も「あたたかい気持ち」になれるためにどのようなことを心がけるのかを意識しながら学校生活を送ってほしいと思います。

後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様、明けましておめでとうございます。三学期はほんとうにあっという間に過ぎていきますが、引き続きご支援、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

